

## 令和2年度 第2回地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会 議事要旨

日時：令和2年8月4日（火）17：00～17：30

場所：中央合同庁舎第4号館12階 共用1208 特別会議室

### 1 議事

#### (1) 地方公共団体Bの今後の計画作成支援に向けた審議等について

- ・今後の計画作成支援について委員による意見交換を行った。主な意見は次のとおり。
- ・研究開発テーマを絞り事業の参画を促さなければ、事業として経済的に自走できないのではないかと懸念する。補助金が途切れたら事業もそこで終わってしまう恐れがあるため、計画作成支援を通じてうまく導くことが必要。
- ・まずは企業が興味を持ちそうなテーマを明確にし、将来的に企業が当該地域に工場や研究所を建設しそうだという感触をもったうえで、交付金の交付期間中はそのテーマに集中すべき。事業を実施しながら連携先の企業を探するという考え方では結局テーマを絞ることができず、国費支援終了後に事業が続かないのではないかと懸念する。
- ・当該開発機関は企業する学生が比較的多く、世界的に有名な起業家もいるが、この人数では規模が小さいのではないかと懸念する。
- ・当該地域は別の産業分野が近年非常に伸びており、なぜこの分野で申請しなかったのかが疑問。いずれにせよ、目的と手段が反対になっているような気がするため、計画の内容をしっかりと考えていくことが必要。
- ・今ある技術をもとにコンソーシアムの構築や技術の磨き上げを行うのではなく、まずは受け手となる企業を見つけ、その企業が製品化するにあたって必要となる技術は何かを特定したうえで、コンソーシアムの構築や技術の磨き上げを進めた方がよい。
- ・本申請までの計画作成支援期間を十分に設け、評価委員会が出た意見を地方公共団体Bに伝え、計画をブラッシュアップしてもらえば、良い計画になるのではないかと懸念する。

座長より、書面評価・評価委員会における審議等を踏まえた改善事項を地方公共団体Bに通知したうえで、事務局及び専門調査機関等との定期的な意見交換をしつつ計画作成支援を行うという提案がされ、各委員からは反対意見等なく、決定した。

以上